

Ⅲ 市民自治基礎学習事業の概要

1 普遍的課題学習活動

平和・人権、環境や女性問題など、現代社会において市民生活を営む上で、年齢や性別にかかわらず、普遍的な課題を解決するため学習機会を提供し、市民意識の啓発や共生社会の形成に必要な能力を養うことを目的として実施している。

(1) 平和・人権学習

日本国憲法、教育基本法の理念に基づき、世界の平和および人権の尊重に関する学習機会を提供し、共に生きる地域社会の創造をめざすことを目的として1985（昭和60）年度から開設。

当初は平和に関する学級と人権に関する学級を別々に開設していたが、平和と人権問題が不可分であることから、1992（平成4）年度に両者を統合し、平和・人権尊重学級として開設した。

(2) 男女平等推進学習

性別役割分業の払拭や女性の地位向上など、性による差別や人権に関する問題解決に向けた学習機会を提供し、男女共同参画社会の実現及び共に生きる地域社会の創造をめざすことを目的として開設した。

1992（平成4）年度からそれまでの「婦人学級」から「女性学級」へと名称が変更され、2003（平成15）年度からは女性の課題から男女が共に学び合う学習へと転換を図り、男女共同参画社会の実現をめざす必要性から「男女平等推進学習」へと事業名を変更している。



2 子育て・共育学習活動

子育て期に必要な諸課題に関して、継続的な学習を実施した。親子が直面する問題や、次の世代を育て親として避けては通れないと思われる問題、親と子どもを取り巻く環境の著しい変化に伴う新たな課題の解決をめざす学習等に取り組むとともに、ワークショップなど様々な参加型学習形態を取り入れ、親同士の学び合いと仲間づくりをめざしている。

(1) 家庭・地域教育学級

子どもを豊かに育て地域社会を創造するために、子育てに関する家庭・地域課題の学習機会を提供し、家庭教育の充実をめざす事業として、市民館等で学級を実施した。

(2) 市民館保育活動

幼い子をもつ親の学習機会を保障するため、主催事業に同伴幼児の保育を併設し、地域で支え合う子育て環境の醸成をめざす事業として、全館で実施した。当初、保育併設は1950（昭和30）年代から婦人学級や生活学校などにおいて学習者相互の輪番制によって始められた。以降、地域の方による保育ボランティアを育成するなどし、保育対象事業は市民要望に沿って拡大され、現在では家庭・地域教育学級、男女平等推進学習、識字学習活動、市民自主学級・市民自主企画事業などで実施している。

(3) 保育ボランティア研修

市民館保育の担い手である保育ボランティアの養成及び資質向上を図って実施した。

3 家庭教育推進事業

子どもを取り巻く地域社会の環境は大きく変化し続けており、子どもの理解、親子のコミュニケーションの取り方、大人としての地域のかかわり等について、地域と連携しながら身近な場の支援を目的としている。

(1) 各区家庭教育推進連絡会

子どもの健全な成長に係っている学校や家庭及び地域の様々な団体等が、それぞれの活動や課題等を共有することで、家庭教育支援の輪を広げ、それぞれの団体の活動の充実を図り、子どもたちの更なる成長につなげていくことを目的として実施した。

(2) P T A家庭教育学級講師派遣

子どもの理解や親の役割及び家庭環境、家庭教育に関する地域の諸課題等についてP T Aが実施する家庭教育学級に対し、講師派遣等の支援を行うことにより、子どもの健全な成長に向けた、学校・家庭・地域の連携による学習活動を実施した。

(3) 子育て支援啓発事業

核家族化等により、家庭教育に関する情報を得にくくなっている子育て中の親子に向け情報交換や仲間づくりの機会提供等を目的として、子育て広場を実施するなど、各市民館において助言や会場確保等、様々な支援を実施した。

(4) 家庭教育支援講座

子どもの理解や親の役割及び家庭環境、家庭教育に関する地域における諸課題等について、原則として各区役所関係機関と連携しながら、気軽に参加しやすい学習機会を提供することにより、親として市民としての学びを支援した。

(5) 企業等との連携による家庭教育支援講座

働きながら子育てをしている保護者のほか、これまで各種事業を受講できなかった家庭の方々が学べる機会や場を増やした。

Ⅲ 1 (1) 平和・人権学習

教文 平和・人権学習 (1)

主 題：かわさきで異文化交流しよう

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	12	8	木	日本に暮らす外国人に聞く1	オリエンテーション 外国の文化を学び多様な世界を知る	市民講師 アマド・エミール・イルブード
2		15	木	日本で活躍する外国人に聞く2	ロシアの文化を学び様々な目線から異文化交流を考える	川崎市国際交流協会 国際理解教育支援講師 ナタリア イタバシ ナタリア スズキ
3		22	木	海外で活躍する日本人に聞く	違う文化の方々と共生していく際に必要なこと、大切にすべきことを学ぶ	NPO法人国際人を目指す会 派遣講師
4	1	12	木	異文化に触れる	東京ジャーミイ・トルコ文化センター見学し、異文化共生への理解を深める	東京ジャーミイ・トルコ文化センター職員
5		19	木	まとめ・振り返り	川崎の施策とまとめ・振り返り	川崎市国際交流協会 中村 高明

●開設場所 教育文化会館 他

●時間帯 10:00~12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 20人 (男8人、女12人)

●延べ人数 67人

教文 平和・人権学習 (2)

主 題：今ドキの子の身近なトラブルについて考えてみよう！

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1	19	木	今ドキの子が抱える問題って？	オリエンテーション 若者の現状について知る	NPO法人育て上げネット 若年支援事業部長 藁田 薫
2		26	木	『依存』について知ろう	依存の実態について知る	依存症専門 大石クリニック 看護師 小柴 梓
3	2	2	木	ブラックバイトって？	近頃耳にするブラックバイトについて理解する	ブラックバイトユニオン 共同代表 渡辺 寛人
4		9	木	若者を支援している施設を見学してみよう	実際に若者の居場所を見学し、支援者の話を聞く	よこはま東部ユースプラザ 職員
5		16	木	振り返り 自分達でも取り組めることについて	講座を通じての学びを共有し、今後の取り組みについて考える	NPO法人育て上げネット 若年支援事業部 担当課長 古賀 和香子

●開設場所 教育文化会館 他

●時間帯 10:00~12:00

●対象 興味のある方20人

●参加者数 12人 (男2人、女10人)

●延べ人数 31人

幸 平和・人権学習（１）

タイトル：こどもの貧困って？～人とのつながりと学び～

主 題：「子どもの貧困」について学び、人とのつながりを考える

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9	15	木	地域のオッチャンからみる子どもたち	子どもの貧困、地域について考える	多摩川太鼓 五十嵐 努
2		29	木	こどもも大人も集まるみんなの‘里’	地域での子どもたちの様子を知り、自分たちができることを話し合う	こどもの里 理事長 荘保 共子
3	10	6	木	多文化共生とこどもの貧困	外国人の貧困や、子どもの居場所について考える	ふれあい館 鈴木 健
4		13	木	講座の振り返り	講座の感想を共有し、地域の中で自分たちが何ができるかを話し合う	企画委員 職員

- 開設場所 幸市民館
- 対 象 関心のある方
- 延べ人数 51人
- 企画委員 4人
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 参加者数 15人（男3人、女12人）
- 企画委員会 7回

幸 平和・人権学習（２）

タイトル：いっしょに食べて、いっしょに笑って、共に生きるそんな地域に

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1	25	水	現代の貧困について	全体の講座の導入として現代の貧困についての概論を聞き貧困問題について学ぶ	上智大学 教授 水島 宏明
2	2	1	水	夏休みに痩せていく子ども達～フードバンクの取り組み～	生活困窮者への支援を行う講師の話聞き、支援の活動内容を学ぶ	フードバンクかわさき 代表 高橋 実生
3		8	水	人生は何度でもやり直せる～非行から少年院、そして今～	少年院出院者自助グループの方の話聞き非行までの背景を知り理解を深める	セカンドチャンス！ 中村 すえこ
4		15	水	“働く”を知る・考える	社会・労働保険の制度等を学び“働くこと”について考える	ワークルールと若者支援を結ぶ会 代表 岸田 則子
5		22	水	ホームレス問題から考える子どもの居場所	安心して過ごせる居場所としての“ホーム”について学び、考える	ホームレス問題の授業づくり全国ネット
6	3	1	水	まず、大人が幸せになっってください～自尊感情を育てる～	自尊感情を育み、子どものよさを見つけて伸ばすことの大切さを学ぶ	代表 北村 年子

- 開設場所 日吉分館
- 対 象 関心のある方
- 延べ人数 68人
- 企画委員 6人
- 時 間 帯 18:30～20:30
- 参加者数 17人（男6人、女11人）
- 企画委員会 4回

中原 平和・人権学習

タイトル：子どもの笑顔があふれる地域へ

主 題：困難を抱える子どもの実情を知り、支援方法を考える

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1	20	金	子どもの権利	川崎市の「子どもの権利条例」を学び子どもたちに権利があることを再確認する	こども未来局青少年支援室 担当課長 大田 祈子
2		27	金	実在する子どもの貧困	「フードバンク」という生活困窮者を支える活動と子どもの貧困を知る	フードバンクかわさき 代表 高橋 実生
3	2	3	金	居場所と学びの支援	「子どもに力を！わくわくを！」を掲げる学びの場の支援を知る	認定NPO法人キーパーソン21 代表理事 朝山 あつこ
4		10	金	川崎市の児童養護施設を見学	家族と生活できない子どもたちの実情と児童養護施設について知る	児童養護施設新日本学園 園長 加藤 健志 ほか職員
5		17	金	児童虐待	川崎市での児童虐待の事実と基礎知識・予防・早期対応を学ぶ	こども未来局児童家庭支援・虐待対策室 課長補佐 村山 智子
6		24	金	里親	里親制度を学び養育里親経験者の話から様々な支援方法を考える	特定非営利活動法人キープアセット 川崎支部マネージャー 樽沼 あづさ 養育里親経験者
7	3	3	金	いじめ問題と子どもの権利	いじめに関する正しい認識を学び、大人・地域の役割を考える	獨協大学法科大学院 教授 野村 武司
8		10	金	多摩川での中学生死亡事件と子どもの居場所	平成27年に起きた悲しい事件から子どもの居場所の大切さと、再発防止を考える	特定非営利活動法人フリースペースたまりば 理事長 西野 博之
9		17	金	障害を持つ子どもたちの実情	障害を持つ子どもたちが必要としているマンパワーを知り、必要な支援を考える	非営利型一般社団法人さきほ 放課後等児童デイサービス 理事 岡野 薫
10		26	金	子どもの笑顔があふれる地域にするために	子どもの笑顔があふれる地域・未来を創るために何ができるのか必要かを考える	こども未来局青少年支援室 担当係長 宮島 登

●開設場所 中原市民館 他

●時 間 帯 14:00～16:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 33人（男7人、女26人）

●延べ人数 245人

高津 平和・人権学習

タイトル：平和で誰もが大切にされる社会のために私たちにできること

主 題：様々な人々が違いを認め合い共に支え合う共生について学ぶ

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10	30	日	障がいを理由とする差別解消、多文化共生、生活困窮者やホームレスへの支援などの課題から、「共生」の実現に向けた市民の役割を考える	【公開講座】 障がいを理由とする差別のない社会を私たちの力で実現するために	認定NPO法人DPI日本会議 事務局長補佐 田丸 敬一朗 明治大学教授 小林 繁 他6人
2	11	6	日		発達障がいの正しい理解と支援	川崎市発達相談支援センター保護者会 りあん 代表 関 伊都子 同 臨床心理士 長谷山 高史
3		13	日		「いちょう団地」の外国人の子どもたちへの外国人当事者による支援	外国人支援ネットワーク すたんどばいみー 事務局長 チューブ サラーン
4		20	日		関東大震災の混乱の中民族差別が生んだ悲劇	歴史研究者・元横浜市立中学校 教員 後藤 周
5		27	日		ヘイトスピーチのない川崎を目指して	(社福) 青丘社 事務局長 三浦 知人
6	12	3	土		日本で暮らす難民への支援	(社福) さぼうと21 事務局長 高橋 敬子
7		18	日		フードバンクによる生活困窮者・貧困家庭への支援	フードバンクかわさき 代表 高橋 実生
8		25	日		映画『ホームレスと出会う子どもたち』上映会	映画監督 飯田 基晴

●開設場所 高津市民館

●対 象 関心のある方

●延べ人数 270人

●企画委員 4人

●時 間 帯 13:30～16:00

●参加者数 72人(男25人、女47人)

●企画委員会 4回

宮前 平和・人権学習（１）

タイトル：「平和って何？」を考えよう

主 題：平和を自分のこととしてとらえ、社会問題への意識を高める

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1	12	木	お互いを知る	自己紹介・平和のイメージを話し合う	職員
2		19	木	過去から学ぶ平和①	東部62部隊について学ぶ	市立白鳥中学校 教諭 大泉 雄彦
3		21	土	過去から学ぶ平和②	前回の知識を踏まえて戦争遺跡を見る	
4	2	2	木	身近な事例から、「今・ここ」の平和を考える	生活保護受給世帯への学習支援等を知り、今の平和を妨げているもの考える	認定NPO法人キーパーソン21 代表理事 朝山 あつこ
5		9	木	平和館見学	平和とは何か、平和の妨げになっているものは何かを学ぶ	平和館 専門調査員 暉峻 僚三
6		16	木	まとめ	これまでの回を踏まえて、今一番伝えたいことをグループで話し合う	暉峻 僚三 東京女子大学 准教授 竹内 久顕

●開設場所 宮前市民館、平和館

●時 間 帯 14:00～16:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 18人（男10人、女8人）

●延べ人数 50人

宮前 平和・人権学習（２）

タイトル：育ちのペースは人それぞれ。～子どもの『今』を大切に～

主 題：子育ての不安を軽減し、子どもをまるごと肯定する姿勢を学ぶ

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1	17	火	オリエンテーション／子育てに関する不安や困難を共有する	自己紹介、講座の趣旨説明、現在抱えている子育てに関する不安を共有する	帝京短期大学 講師 臨床心理士 五十嵐 元子
2		24	火	発達の困難と自己肯定感を考える	子どもの成長過程に関する基本的な知識や、親の自己肯定感を高めることの重要性を学ぶ	
3		31	火	困った子から、困っている子へ	子育て支援の現場に関わられた講師から、具体的な事例や、子どもへの接し方を学ぶ	田園調布学園大学 教授 鈴木 文治
4	2	7	火	まずは、子どもの気持ちに寄り添うこと		豊島区子ども家庭部子育て支援課 子育て支援担当係長 山本 芳子
5		14	火	子どもをまるごと認めよう		ぶどうの実梶ヶ谷園 園長 堀 初恵

●開設場所 宮前市民館

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 乳幼児～小学生を持つ親

●参加者数 18人（男0人、女18人）

●延べ人数 78人

●保育参加者数 13人（男7人、女6人）

多摩 平和・人権学習

主 題：子ども達が幸せに生きる権利を考える～子ども達を取り巻く現状～

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10	8	土	子ども達をとりまく様々な状況、虐待や貧困に起因する問題を正しく理解し、子ども達の精神的な拠り所や身体の健康を守る手段についても学ぶことで、保護者や地域社会として子ども達の権利を守ることの意欲を喚起する機会とする	虐待等の地域の現状を知り、地域社会での対応について学ぶ	こども未来局北部児童相談所 所長 小林 佳子
2		22	土		地域や家庭でできる防止活動について学び、何ができるのかを考える	NPO法人CAPかながわ 理事長 細川 一美
3		29	土		“子どもの居場所”としてのフリースペースについて学ぶ	特定非営利活動法人アンガー ジェUMAN・よこすか 理事長 島田 徳隆
4	11	5	土		子どもの成長にとって安全で健康的な食生活を考える	食の安全を考える会 代表 野本 健司
5		15	火		少女院施設の見学	愛光女子学園 職員
6		26	土		子ども食堂、フードバンクが成立した経緯を知り、子どもの貧困の実態を学ぶ	フードバンクかわさき 代表 高橋 実生 地域のお茶の間研究所さろ んどて 代表 早川 仁美
7	12	3	土		第6回までを振り返り、保護者や地域として何ができるのかを話し合う	職員

●開設場所 多摩市民館 他

●対 象 関心のある方

●延べ人数 94人

●企画委員 8人

●時 間 帯 主に14:00～17:00

●参加者数 31人（男4人、女27人）

●企画委員会 6回

麻生 平和・人権学習（１）

タイトル：千差万別十人十色描く未来は錦色？～多様化する現代を考える～

主 題：多様性社会の現状・問題点を知りこれからの地域社会創成を考える

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10	27	木	江戸時代に学ぶ多様性社会	古典落語から多様性社会の理想像を考える	落語家 金原亭 馬治
2	11	9	水	ジェンダーのもたらす個人の尊重への壁	多様性とは何か、性別から考える	日本女子大学 非常勤講師 林 祐子
3		16	水	多文化共生と多様性社会	多文化共生の視点からダイバーシティを見つめる	コラムニスト サンドラ・ヘフェリン
4		30	水	マイノリティーを取り巻く法律と人権	LGBT・女性・障がい者など社会的マイノリティーの人権を法律から考える	弁護士 穂積 匡史
5	12	7	水	当事者が語る障がいの現状・講座のまとめ	障がい者として感じた事や課題を当事者の話から学ぶ・講座のまとめ	シンガー つる ひでこ 職員

●開設場所 麻生市民館 他

●時 間 帯 18:00～20:00 (1回目) 14:00～16:00 (2～4回目)

●対 象 関心のある方

●参加者数 30人 (男5人、女25人)

●延べ人数 100人

●企画委員会 3回

●企画委員 3人

麻生 平和・人権学習（２）

タイトル：いま、戦争を記録する

主 題：DSTでまとめる戦争体験

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11	10	木	戦後71年を過ぎ、戦争の時代の記憶をたどり、語る、それを文章化し、朗読、それに写真等を加えるデジタルストーリーテリングの手法でまとめる	戦争を思い出して、経験を語る	DST指導者 須摩 修一
2		24	木		戦争体験を文章化する	
3	12	1	木		戦争体験を朗読する	
4		8	木		画像を加える	
5		15	木		学級内部発表	
6	1	28	土		発表&対話集会	

●開設場所 麻生市民館

●時 間 帯 9:30～11:30

●対 象 戦争体験者及び関心のある方

●参加者数 9人 (男2人、女7人)

●延べ人数 82人 (発表&対話集会を含む)

●企画委員会 3回

●企画委員 3人

Ⅲ 1 (2) 男女平等推進学習

教文 男女平等推進学習

タイトル：アラフィフのためのお役立ち講座

主 題： 50代の男女が抱える悩みとは？

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7	13	水	「認知症」をどう受け止めるか	「認知症」と診断された親をどう受け止めていくか、について学ぶ	認知症家族の会「紙風船の会」 代表 井上 まさ子
2		27	水	ライフスタイルにあわせた生活資金	様々な条件下のもとでのライフスタイルを想定し、必要な老後資金を考える	ファイナンシャルプランナー 遠藤 政子
3	9	7	水	特別養護老人ホーム見学	施設入居を選択したとき、親を安心して預けるために、どのような点に注意をすべきか、実際に施設を見学しながら考える	職員
4		21	水	介護付有料老人ホーム見学		
5		24	土	男性の更年期について学ぶ	更年期を乗り越えるため、男性特有の症状とその対応について学ぶ	昭和大学藤が丘病院泌尿器科 医長 教授 佐々木 春明
6	10	5	水	腰の重要性について学ぶ	身体を中心である腰について、身体全体への影響やバランスの大切さを学ぶ	川崎幸病院 リハビリテーション科 理学療法士 山根 圭視
7		19	水	油との付き合い方	50代からの「油」との付き合い方について学ぶ	J-オイルミルズ
8	11	2	水	ストレスを溜めない生活について学ぶ	生活習慣病のサインともいわれる加齢臭について、学ぶ	五味クリニック 院長 五味 常明
9		16	水	年齢にあわせた外見の整え方を学ぶ	成熟した大人としての外見の整え方について学ぶ	美容研究家 大内 節子

- 開設場所 教育文化会館 他
- 時間帯 10:00～12:00
- 対象 50歳以上の関心のある方
- 参加者数 28人(男6人、女22人)
- 延べ人数 71人
- 企画委員会 3回
- 企画委員 4人

幸 男女平等推進学習（１）

タイトル：私らしく生きてみませんか？

主 題：男女が対等なパートナーとして歩むためのコミュニケーション

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11	18	金	アサーティブネスの基本を学ぶ	オリエンテーション・コミュニケーションについて・自己紹介	NPO法人アサーティブジャパン 認定講師 寺地 典子
2		25	金	自分も相手も大切に した誠実で対等な コミュニケーションを 学ぶ	率直な依頼について	
3	12	2	金		気まぜくならない上手な断り方	
4		9	金		自分を愛する事・自己肯定感の向上	
5		16	金	男女平等推進にかかる 現状と課題とまとめ	男女平等推進にかかる現状と課題を学び今まで 学んだ事について話し合う	川崎市男女共同参画センター 館長 新村 富喜子

●開設場所 日吉分館

●時間帯 13:30～15:30

●対象 関心のある方

●参加者数 9人（男1人、女8人）

●延べ人数 35人

幸 男女平等推進学習（２）

タイトル：知って・気づいて「自分力」を高めよう！

主 題：様々な情報や表現についてジェンダーの視点から考える

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2	22	水	様々な情報や表現に ついてを主体的に読 み解き、評価につい て学ぶ。主体的に判 断する市民の育成を 図ると共に、男女共 同参画への啓発を促 す。	ジェンダーと男女共同参画	神奈川県 教授 井上 匡子
2	3	1	水		映像メディアを読み解く	フェリス学院大学 教授 諸橋 泰樹
3		8	水		「写真」表現とジェンダー	東京都写真美術館 学芸員 笠原 美智子
4		15	水		活字メディアを読み解く	諸橋 泰樹
5		29	水		まとめと振り返り	川崎市男女共同参画センター 館長 新村 富喜子

●開設場所 日吉分館

●時間帯 14:00～16:00

●対象 関心のある方

●参加者数 10人（男3人、女7人）

●延べ人数 30人

中原 男女平等推進学習（１）

タイトル：あなたの人生設計を見直そう～50代からのライフプランニング～

主 題：50代から定年後を見越して、セカンドライフプランを設計する

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	12	4	日	50代からのライフプランを考える	50代からの生き方やセカンドライフプランの練り方について理解を深める	YWOO(株) 代表取締役社長 特定社会保険労務士 渡辺 葉子
2		11	日	アラフィフ・クライシスを乗り越える	「体・心・環境」が大きく変化する50代からの人生について、課題を共有する	上級心理カウンセラー 遠藤 久恵
3		18	日	定年後どうする？生活のリスクとその対策	社会保障制度だけでは覆いきれない人生のリスクを想定し、何が必要か考える	ファイナンシャルプランナー 平野 雅章
4	1	8	日	これからの地域活動について考える	これからの人生を豊かにするために、地域活動に参画することをイメージする	(有) コミュニティーサポートネット 代表 生駒 みを
5		15	日	変化を楽しむ気持ちを持ち続けるために	マインドチェンジを図るためのノウハウを学び、人生設計を広い視野で見直す	渡辺 葉子

●開設場所 中原市民館

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 25人（男9人、女16人）

●延べ人数 99人

中原 男女平等推進学習（２）

タイトル：武蔵小杉のまちの未来図を描こう

主 題：性差等に関係なく多様な人が協調できるまちづくりのあり方

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	3	2	木	まちづくりの手法を学ぼう	「まちづくり」とは、どのような視点や手法で行われているのかを知る	(株)計画技術研究所 代表取締役 川崎市地区まちづくり審議会委員 佐谷 和江
2		16	木	ダイバーシティのまちづくりを理解する	川崎市が推進する「ダイバーシティのまちづくり」について学ぶ	NPO法人ピープルデザイン研究所 ディレクター 田中 真宏
3		23	木	武蔵小杉のまちを実際に観察してみる	「多様性」に対する配慮をテーマとして、武蔵小杉のまちを調査する	まちづくり局拠点整備推進室 小杉駅周辺整備担当職員
4		30	木	これからのまちの未来図を描こう	武蔵小杉のまちの将来像を話し合い、これからのまちづくりのあり方を考える	佐谷 和江

●開設場所 中原市民館

●時 間 帯 14:00～16:30

●対 象 関心のある方

●参加者数 17人（男12人、女5人）

●延べ人数 53人

高津 男女平等推進学習（１）

タイトル：どうする？男の介護

主 題：いざという時に慌てないための、日常生活での介護の備え

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1	14	土	介護の基礎知識を学ぶ	男女ともに身近な課題である介護を事例から考え、介護医療について学ぶ	田園二子クリニック 院長 山岡 桂太
2		21	土	高齢者の日常を体験し、ケア方法を学ぶ	福祉用具や介護用品を体験し、高齢者が安全に快適に生活できる方法を学ぶ	介護用品ショップ あっふる 山本 誠司 木下 優子
3		28	土	健康維持のための栄養管理や料理を学ぶ	高齢者の身体に合った食材の選び方、栄養バランスに配慮した料理の実習	管理栄養士 米井 智子
4	2	4	土	身体のセルフメンテナンス術を学ぶ	介護する側もされる側も健康を保持するための介助法の実習	理学療法士 佐藤 正務 佐藤 奈帆 杉山 さおり
5		11	土	支えあう介護を学ぶ	地域で活動する男性介護者の事例から1人で抱え込まない介護を考える	男性介護者のおやじの会 伊藤 金政

●開設場所 高津市民館

●時 間 帯 主に14:00～16:30

●対 象 関心のある男性（男女ペア可）

●参加者数 21人（男20人、女1人）

●延べ人数 81人

高津 男女平等推進学習（２）

タイトル：男女平等の視点で考える防災

主 題：男女それぞれの視点で防災を見直し、もしもの備えを考える

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2	5	日	集合住宅での災害対策について学ぶ	【公開講座】集合住宅に住む家庭での防災の基礎知識や在宅避難を学ぶ	災害対策研究会 主任研究員 マンション防災士 釜石 徹
2		10	金	災害とジェンダーについて学ぶ	女性と男性がお互いの視点を理解し、主体的に行動できる防災術を学ぶ	神奈川災害ボランティアネットワーク 運営委員 塩沢 祥子
3		17	金	もしもの時に役立つ防災食の体験	簡単に美味しい防災食が作れる工夫や調理方法を学ぶ	釜石 徹
4		24	金	避難所運営ゲーム(HUG)を通して考える	避難所での様々な問題について、男女平等の視点で考える感覚を身につける	日本ミクニヤ(株) 防災士 上園 智美
5	3	3	金	自分と大切な家族を守るための「備え」	自分と家族を守る必要最低限なものを考え、日常的に備える方法を学ぶ	NPO法人ウィメンズアイ 事務局長 栗林 美知子

●開設場所 高津市民館

●時 間 帯 主に10:00～12:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 22人（男6人、女16人）

●延べ人数 92人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 3人（男1人、女2人）

●保 育 者 高津市民館登録ボランティア

宮前 男女平等推進学習

タイトル：後悔しない夫婦関係って？

主 題：夫婦において互いを認め自分を大切にすることの大切さに気づく

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1	12	木	オリエンテーション	学級の趣旨・流れを確認する。これからともに学習する仲間を知る	企画委員、職員
2		19	木	夫婦の在り方を考える	今の自分の夫婦関係を振り返る	職員
3		26	木	夫婦崩壊?!それでもふたりが別れない理由	いろいろな夫婦関係、様々な理由で別れない夫婦の事例について話を聞く	フリーライター 亀山 早苗
4	2	2	木	夫婦の形を見直す	今の自分の夫婦関係を振り返る。DV、モラハラとはどのようなものかを知る	世田谷区立男女共同参画センターらぷらす 阪口 さゆみ
5		9	木	夫婦と社会保障	給与のしくみや年金のしくみを知る	ファイナンシャルプランナー 菅原 直子
6		16	木	恋愛の科学～愛を測定し診断する心理学	夫婦関係を持続するために重要な心理的要素を学ぶ	法政大学 教授 越智 啓太
7		23	木	幸せな結婚生活の持続に必要なこと	夫婦関係の満足度と維持にとって重要な条件を知る	日本結婚カウンセリング協会 会長 吉川 延代
8	3	2	木	夫婦の会話にアサーションを生かす	自分も相手も大切に、お互いを認め合うコミュニケーション法について学ぶ	NPO法人アサーティブジャパン 桜沢 信江
9		9	木	夫は発達障がい～自助グループによる気づきを知る	発達障がいのパートナーをもつ女性たちの自助グループ運営の中での気づきを学ぶ	フルリール 代表 真行 結子
10		16	木	学級を通して考えたこと	学級全体を通して学んだことを確認する	企画委員、職員

●開設場所 宮前市民館

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 関心のある人

●参加者数 31人（男0人、女31人）

●延べ人数 199人

●企画委員会 8回

●企画委員 7人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 11人（男5人、女6人）

●保 育 者 宮前市民館保育ボランティア

菅生 男女平等推進学習

タイトル：ママの再就職 ～私の『働く』、どうしよう？

主 題：再就職・復職の前に、自分らしく、どうあるかを考える

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1	24	火	受講者同士が知り合い自分の中の課題に気付く	オリエンテーション、自己紹介 働くために気になっていることを話す	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代
2	2	7	火	職場での話や制度の話聞く	子育てしながら働くことの実情を知り、実際にどう働くかを考える	(株)CCファーム 代表 大嶽 圭子
3		14	火	仕事のあり方、家族との関わり方についてを考える	家族で協力し合うことの大切さ・コミュニケーションの取り方などを学ぶ	保育園を考える親の会 代表 普光院 亜紀
4		28	火	就職後の生活をイメージする	地域の先輩から話を聞き、子育て中で働くことについて、具体的な話を聞く	地域の先輩ママ 3名
5	3	7	火	学習を振り返り、自分の課題について、改めて考える	講座で学んだことをもとに、自分らしく働くとは、どういうことかを考える	竹迫 和代

●開設場所 菅生分館

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 11人（男0人、女11人）

●延べ人数 46人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 15人（男9人、女6人）

●保 育 者 つくしんぼ

多摩 男女平等推進学習

タイトル：HAPPYコミュニケーション！～コミュニケーション力を育もう～

主 題：コミュニケーションを学び、家庭や社会でより良い関係を築く

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1	13	金	コミュニケーションについて考える	生活の中でのコミュニケーションについて考える	米国NLP協会認定マスタープラクティショナー 石田 智子
2		20	金	男女の思考のずれや、違いを学ぶ	男女の考え方の違いを知り、コミュニケーションに活用する	マインドパワー&ハッピーマジック 主宰 よしおか ゆうみ
3		27	金	コミュニケーションスキル～話し方編～	相手と深く理解し合うための話し方を学び、実践して身につける	NPO法人話し方ネットワーク
4	2	3	金	コミュニケーションスキル～聞き方編～	相手と深く理解し合うための聞き方を学び、実践して身につける	理事 宇野 多一
5		17	金	おいしくコミュニケーション！①	おもてなし料理を通して相手を思いやる心を育む	料理研究家 加茂 ゆかり
6		24	金	アサーティブトレーニングで自分表現①	アサーティブとは何かを学び、コミュニケーションに活かす	オフィス「想」ネットワーク 主宰 中野 満知子
7	3	3	金	アサーティブトレーニングで自分表現②	相手と自分を大切にしたいコミュニケーションを学ぶ	
8		24	金	おいしくコミュニケーション！②	料理を通じてコミュニケーションをし、講座を振り返る	加茂 ゆかり

●開設場所 多摩市民館

●時 間 帯 10:00～12:00（実習10:00～14:00）

●対 象 関心のある方

●参加者数 15人（男1人、女14人）

●延べ人数 82人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 5人（男0人、女5人）

●保 育 者 多摩保育グループ

麻生 男女平等推進学習（１）

タイトル：夫と妻、共に輝くための秘訣

主 題：夫と妻の向き合い方

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11	8	火	夫婦がお互いに認め合い尊重し合える存在になるために、必要なことは何かについて学び、今後の夫婦生活に活かし、さらには地域の中での自分の居場所を探さきっかけとする。	オリエンテーション はじめまして！自己紹介	笑顔セミナー事務局認定講師 川原 久美子
2		22	火		互いの気持ちを伝え合うには	スタジオD o u m o + 代表 金田 和香子
3		29	火		閉じこもらずに外にでよう ～麻生区の活動事例から学ぶ～	麻生ハートフルフレンズ 代表 曾我 えみこ
4	12	5	月		夫と妻のパートナーシップを考える	立教大学 教授 萩原 なつ子
5		12	月		講座の結び、「これから」について	金田 和香子

●開設場所 麻生市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 16人（男3人、女13人）

●延べ人数 48人

麻生 男女平等推進学習（２）

タイトル：夫婦の関係が良くなるコミュニケーションワークショップ

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2	10	金	夫婦関係を見直すまたはより良くしたいのか、システムコーチングのワークショップを通して考える	夫婦関係の理想と現実を考える	N e n o k i 代表 埴 博臣
2		17	金		夫婦関係を壊す毒素と対処方法を考える	
3		24	金		「愛情の銀行預金」を貯める一歩を踏み出す	
4	3	3	金		「こんな夫婦になりたい！」を見つける	

●開設場所 麻生市民館 他

●時間帯 13:30～16:30

●対象 夫婦関係を良くしたい御夫婦（ひとりで参加も可）

●参加者数 17人（男6人、女11人）

●延べ人数 47人

●企画委員会 2回

●企画委員 3人

Ⅲ 2 (1) 家庭・地域教育学級

教文 家庭・地域教育学級 (1)

タイトル：イヤイヤ期の2才児の子育てと地域での仲間づくり 親子で楽しんで育む2才児子育て

主 題：親子の関わり方を学び、地域での仲間づくりを図る

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6	29	水	参加者同士が知り合う	オリエンテーション 自己紹介	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代
2	7	13	水	スキンシップの仕方を学ぶ1	ふれあいリズム遊び 手遊び	子ども未来局子育て推進部 川崎区保育総合支援担当 保育士
3		31	日	父親と子どもの関わり方を学ぶ	親子体操	チャイルドセラピスト 金城 奈々
4	9	13	火	子育ての基本を学ぶ1	子どもの生活リズムについて	子ども未来局子育て推進部 川崎区保育総合支援担当 看護師
5		27	火	スキンシップの仕方を学ぶ2	親子スキンシップ遊び	子育てアドバイザー 幼稚園教諭 宗藤 純子
6	10	20	木	子どもとの外出1	大師河原水防センター見学	NPO法人多摩川干潟ネットワーク 理事 佐川 麻理子
7		25	火	子育ての基本を学ぶ2	2才児期の食事	子ども未来局子育て推進部 川崎区保育総合支援担当 栄養士
8	11	8	火	子どもとの外出2	夢見ヶ崎動物公園見学	夢見ヶ崎動物公園 園長 岩瀬 耕一
9		22	火	子育ての基本を学ぶ3	子どもの心と体	心理相談員 千賀 陽子
10	12	6	火	振り返り	クリスマスのおもちゃづくり まとめ	子ども未来局子育て推進部 川崎区保育総合支援担当 保育士

- 開設場所 教育文化会館 他
- 対 象 2才の子どもとその保護者
- 延べ人数 155人
- 保育参加者数 14人 (男4人、女10人)
- 時 間 帯 10:00~12:00
- 参加者数 30人 (男6人、女24人)
- 保育内容 自由遊び
- 保 育 者 ポピンズ

教文 家庭・地域教育学級 (2)

主 題：親子で体験 アナウンサーになってみよう

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2	18	土	物づくりの楽しさを知る	専門家指導のもと「我が家のニュース」を親子で一緒に作成する	(株)テレビ朝日スタッフ

- 開設場所 教育文化会館
- 対 象 小学3年生以上の子どもと保護者
- 時 間 帯 13:30~15:00
- 参加者数 17人 (男8人、女9人)

教文 家庭・地域教育学級 (3)

タイトル：なかよしひろば

主 題：子どもの心を豊かに育み、親子と参加者同士の交流を図る

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	3	5	日	参加者同士が知り合う	人形劇、ペープサート、一人芝居	人形劇団「ひとみ座」

- 開設場所 教育文化会館
- 対 象 小学生までの子どもと保護者
- 時 間 帯 9:30~13:30
- 参加者数 77人 (男30人、女47人)

大師 家庭・地域教育学級

タイトル：しあわせ子育て

主 題：子育ての不安やイライラの根本を理解し、解決策を学ぶ

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5	12	木	はじめまして こんにちは	オリエンテーション 参加者同士で自己紹介	保育士 石田 幸子 職員
2		19	木	しあわせな親とは	子育て中の不安や悩みからくるイライラの見つけ、その対処法を学ぶ	子育てカウンセラー 萩原 光
3		26	木	親の気持ち 子どもの気持ち	発達を知り、こどもの気持ちを考える	石田 幸子
4	6	5	日	こんなときどうする？	こどもの突然の怪我や病気に対応できるように知識を共有する	NPO カンガルーBLS
5		9	木	絵本のちから	読み聞かせから広がる、感性や絵本の楽しさを実践を交えながら学んでいく	絵本セラピスト 五十子 牧子
6		16	木	ママクッキング	簡単なお菓子づくりを通して、食育を学び親同士のコミュニケーションを図る	日清製粉 社員
7		23	木	『しあわせ』の瞬間 見つけ方	講座のふりかえり	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代
8		25	土	親子のふれあい遊び	一緒に体を動かし、親子遊び、集団遊びの中でのこどもの成長を知る	石田 幸子

●開設場所 大師分館 他

●時間帯 10:00～12:00

●対象 区内在住の2歳～就園前の子を持つ親

●参加者数 7人（男0人、女7人）

●延べ人数 42人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 7人（男0人、女7人）

●保育者 クローバー

田島 家庭・地域教育学級（1）

タイトル：子育てママの就活チャレンジ講座

主 題：子育て中のママ向けに仕事復帰を目指すための準備講座

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10	4	火	子育てと仕事の両立を考えている母親向けに家事の負担を少なくするコツや就活に役立つ内容を学ぶ	調理の段取りや食材の保存法を学ぶ・時短メニューを知ることで家事の負担を減らす	管理栄養士 田邊 弘子
2		11	火		好印象に見える就活のための身だしなみや心構えを学ぶ	福祉人材研究所・M&L 所長 五十嵐 さゆり
3		25	火		効率良い整理術や収納法を学び、キレイなお部屋を保つコツを学ぶ	整理収納アドバイザー 川島 マリ
4	11	1	火		子育てに対する不安や未来に感じる心の負担を軽くする方法を知る	臨床心理士 石黒 沙紀
5		8	火		仕事を持つ子育てママの経験談を聴くことで就活をより具体的にイメージする	仕事を持つ先輩ママ2名 経済労働局 職員

●開設場所 田島分館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 14人（男0人、女14人）

●延べ人数 48人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 7人（男2人、女5人）

●保育者 保育ボランティアいくいく 他

田島 家庭・地域教育学級（2）

タイトル：家庭・地域教育学級 パート2

主 題：リトミックといっしょに歌おう

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	3	11	土	親子のコミュニケーションを図る	親子で歌とリトミックを体験する	ソプラノ歌手 桜井 純恵

●開設場所 田島分館

●時間帯 13:00～14:00

●対象 1歳～3歳の子と保護者

●参加者数 48人

幸 家庭・地域教育学級（１）

主 題：赤ちゃん和ゆっくり子育て

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5	18	水	学習者同士の交流	自己紹介・保育説明会	職員
2	6	1	水	子育てしている中での出来事を話し合う	子育てしている中で可愛い姿や不安なことを話そう	元保育士 谷 淳子
3		15	水	先輩ママと情報交換	先輩ママと情報交換	市民自主グループ こんにちは赤ちゃん
4		29	水	学習者同士仲良くなる	お出かけする計画を立てよう	職員
5	7	13	水	お出かけしよう	子どもと離れる経験を初体験	職員
6		20	水	離乳食の固さってどんな感じ	離乳食ってどうすればいいの？ 味は…？固さは…？	アサヒグループ食品(株)広報 CSRグループ 金丸 眞子
7	8	3	水	まとめ	保育ボランティアから子どもの様子を聞こう	保育ボランティア 幸保育学習会

- 開設場所 幸市民館 児童室
- 時間帯 14:00～16:00
- 対象 第1子に0歳児の子どもがいる保護者
- 参加者数 32人（男9人、女23人）
- 延べ人数 176人
- 保育内容 自由遊び
- 保育参加者数 12人（男6人、女6人）
- 保育者 幸保育学習会

幸 家庭・地域教育学級（２）

タイトル：子育て講座～親育ち・子育て～

主 題：支えあい、学びあう「子育て」について考える

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11	10	木	学習者同士の交流・子育てに関する情報交換	オリエンテーション・自己紹介・子育てで感じている事について	元川崎市夢パーク スタッフ 山田 悦子
2		17	木	自身の身体を見つめなおす	自分の動きに注意を向け、より効果的な動き方、自分自身の体の使い方を学ぶ	フェルデンクライスアカデミーワイズグループ 代表 湊 真里
3		24	木	子育てについて考える	ありのままのわが子を受け止める	武蔵大学 非常勤講師 瀬川 未佳
4	12	1	木	親のあり方について学ぶ	頑張りすぎない親になる	NPO法人子ども家庭リソースセンター 理事 伊志嶺 美津子
5		8	木	児童室での子どもたちの成長を知る	児童室の子どもたちの様子を見る	保育ボランティア 職員
6		15	木	参加者同士の気持ちを共有し、学びを活かす	まとめ・振り返り	山田 悦子

- 開設場所 日吉分館
- 時間帯 10:00～12:00
- 対象 乳幼児以上のお子さんをお持ちの保護者と関心のある方
- 参加者数 10人（男0人、女10人）
- 延べ人数 42人
- 保育内容 自由遊び
- 保育参加者数 9人（男2人、女7人）
- 保育者 幸保育学習会

日吉 家庭・地域教育学級

タイトル：幼児と親の学級

主 題：幼児期の子育ての課題について考える

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10	7	金	子どもの理解や子育てに関する様々なテーマについて同じ立場の親たちが、子どもの成長・発達について理解を深め、子育ての不安や悩みを共有し、親同士の交流を図るとともに、子どもは保育ボランティアとともに子ども同士の関わり合いを体験することで、親も子どもも共に育つことを学ぶ	学級の進め方・保育説明会	保育ボランティア「ぼっぼ」 職員
2		14	金		自己紹介・オリエンテーション	子育てアドバイザー 三星 とく子
3		21	金		話し合おう、自分のこと子どものこと	帝京大学 教授 杉本 真理子
4		28	金		子どもの育ちと大人の育ち	
5	11	4	金		子どもと絵本の世界を考える	幸えほんの会 代表 留目 知春
6		11	金		ゆる親のすすめ	NPO法人フリースペース たまりば 理事長 西野 博之
7		18	金		みんなで料理	料理研究家 バネッサ・ブステイヨス
8		25	金		今後の子育てを考える	心理カウンセラー 内田 良子
9	12	2	金		子どもの発達と事故について学ぶ	幸区役所保育所等・地域連携 高橋 俊子
10		9	金		学級のまとめ・交流会	保育ボランティア「ぼっぼ」 職員

●開設場所 日吉分館

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 1歳6ヵ月から3歳までの親子

●参加者数 15人（男0人、女15人）

●延べ人数 127人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 17人（男13人、女4人）

●保 育 者 保育ボランティア「ぼっぼ」

中原 家庭・地域教育学級（1）

タイトル：犯罪に巻き込まれないために

主 題：犯罪から子どもを守るために大人や地域ができることを学ぶ

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11	2	水	最近の身近な犯罪を知り、子ども自身・大人自身・地域での防犯方法を学び考える。また、大人向け・子ども向けの護身術体験など実践的な講義も行い、学習したことを家庭や地域という身近なところから共有し子どもが安全に過ごすことのできる地域について考える	最近の身近な犯罪と中原警察署の取組みを学ぶ	中原警察署 生活安全課 課長 中川 重治 小川 照夫
2		9	水		護身術を体験する	中原警察署 地域課 剣道講師 松原 治
3		16	水		防災常識のウソ・ホントを知り、犯人の心理等から犯罪予測と回避方法を学ぶ	立正大学 教授 小宮 信夫
4	12	8	木		今すぐのできる安全教育や犯罪に強い環境整備の方法を学ぶ	子どもの安全教育総合研究所 理事長 宮田 美恵子
5		14	水		これまでの学習の振り返りと身近な防犯活動について学ぶ	中川 重治 小川 照夫

●開設場所 中原市民館

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 23人（男8人、女15人）

●延べ人数 58人

中原 家庭・地域教育学級（2）

タイトル：ドキドキの一年生からワクワクの一年生へ「親が就学前に知っておきたいこと」Ⅱ

主 題：小学校生活について学び、子どもとの関わり方について考える

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1	13	金	小学校生活について知る	学校生活を知り保護者の役割りについて考える・学校給食について学ぶ	学校教育部中原区教育担当 指導主事 田中 康子
2		20	金	放課後の過ごし方について	わくわくプラザ事業の活動内容や利用方法及び子どもたちの現状について知る	新城こども文化センター 館長 小牧 輝代子
3	2	3	金	子どもの心と体の成長に必要な運動について	運動が子どもの心と体の成長にどのような影響があるのかについて学ぶ	ウイズ ア スマイル主宰 元川崎市立高津高等学校 校長 遠藤 久恵
4		26	日	食生活について	一日のスタートを元気に迎える方法を考え、朝ごはんを実際に作ってみる	なかはら食のみまもり会 栄養士 瀧澤 みや子
				遊びを通して、子どもとの関わり方を考える	遊びを通して、子どもが社会性を身につけることを学ぶ	レクリエーション指導者 武 幸子
5	3	3	金	子どもを見守るとは	子育て経験者の声を参考に、やる気をサポートする声かけの仕方を知る	NPO法人ハートフルコミュニケーション 奥山 久美子 杉本 真紀

- 開設場所 中原市民館
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 対 象 関心のある方
- 参加者数 26人（男13人、女13人）
- 延べ人数 77人
- 保育内容 自由遊び
- 保育参加者数 3人（男2人、女1人）
- 保 育 者 保育ボランティア「ぼかぼかの会」

高津 家庭・地域教育学級

タイトル：子育て1年目を楽しもう！2016

主 題：乳児の子育ての不安や悩みを参加者で共有しつつなごりを深める

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6	17	金	自己紹介と市民館保育について	自己紹介とオリエンテーション。また、市民館保育についての説明をする	保育ボランティア 職員
2	7	1	金	赤ちゃんを健やかに育むには	子どもに健やかに成長してもらうために、どう接すればいいのかを考える	NPO法人子どもすこやかサポートネット 理事 高祖 常子
3		8	金	産後の体調管理について	産後の正しい体調管理や母乳育児のトラブル対処法について学ぶ	ウパウパハウス岡本助産院 助産師 岡本 登美子
4		15	金	カラーセラピーで、育児の合間に気分転換	カラーセラピストによる色彩セラピーを体験し、自分の気持ちと向き合い、子育てに活かす	カラーセラピスト&コンサルタント 田中 つるみ
5	9	2	金	生まれてきてくれてありがとうをいつまでも	これから長く、家族で子育てしていく上で、大切なことを考える	NPO法人フリースペースたまりば 理事長 西野 博之
6		9	金	近隣の子育て支援センターについてと、絵本の選び方	近隣の子育て支援センターについての情報や、活用方法などを学ぶ。赤ちゃんが読みやすい絵本の選び方を学ぶ	絵本で子育てセンター 北 素子 地域子育て支援センターたまご 中山 かう
7		16	金	乳児期の子どもの病気とけが	乳児期の子どもの病気やけがについての知識を学ぶ	海老名総合病院 小児科看護師 小島 仁美
8		22	木	夫婦、家族で子育てを考えよう！	ワークショップを通じて夫婦・家族で楽しく育児するための秘訣を学ぶ	ロジカル・ペアレンティングLLP 代表 林田 香織
9	10	14	金	離乳食を学び、作ってみよう！	離乳食など、乳幼児期の食事の栄養バランスなどを学び、実践する	栄養士 米井 智子
10		21	金	これからも、楽しく子育てしていこう！	講座を振り返り、これからも楽しく子育てしていくための秘訣を皆で考える	職員

- 開設場所 高津市民館
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 対 象 生後1歳未満の第1子子育て中の保護者
- 参加者数 28人（男8人、女20人）
- 延べ人数 169人
- 保育内容 自由遊び
- 保育参加者数 10人（男3人、女7人）
- 保 育 者 高津市民館保育ボランティア

橘 家庭・地域教育学級（1）

タイトル：0歳からの子育て

主 題：交流を通して子育ての情報を共有し不安の軽減や仲間作りを支援

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5	24	火	学級に対する不安や緊張の緩和 受講生同志知り合う	自己紹介を交えながらお互いを知る	HUG♪HUG 代表 勝呂 芽育
2		31	火	近隣で子育てを支援している人や施設について知る	地域の子育て支援や、子育て情報を知る	地域子育て支援センターしぼくち スタッフ 北 素子
3	6	7	火	乳児期の親子スキンシップを楽しむ	「タッチケア」の方法や効果について学ぶ	勝呂 芽育
4		14	火	乳児期の食事や健康面について学ぶ	乳児期の食事面や健康面での話を聞き、情報を共有する	高津区役所保健福祉センター 内藤 由莉 高津区役所地域みまもり支援センター 富田 幸子 梅原 茜
5		21	火	先輩ママの話を聞きこれからについて考える	学習を振り返り、今後の可能性を探る	子育てグループ「きらきらサークル」 勝本 結香 青海 真有 越前 絵里子

●開設場所 橘分館

●時間帯 10:00～11:30

●対象 0歳児をもつ保護者

●参加者数 20人（男0人、女20人）

●延べ人数 82人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 20人（男11人、女9人）

●保育者 橘分館登録保育ボランティア

橘 家庭・地域教育学級（2）

タイトル：いやいや期をにこにこ期へ

主 題：いやいや期の子育てに見通しを持ち、地域での仲間を作る

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	12	13	火	受講者同士が知り合い、共通認識を持つ	オリエンテーション・自己紹介・子育ての悩みや喜びを話し合う	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代
2		20	火	いやいや期の特徴や関わり方のポイントについて学ぶ	いやいや期の子ども特徴や関わり方について学ぶ	元川崎市公立保育園 園長 高橋 君子
3	1	17	火		休み中の様子について、振り返り、良かった点や反省点を出し合う	
4		22	日	子どもと触れ合って遊ぶ楽しさ、大切さを学ぶ	【公開講座】触れ合い遊びやムーブメントを親子（家族）で楽しむ	ひなたぼっこの会
5		24	火	いやいや期をにこにこ期で過ごすための気持ちの持ち方を学ぶ	いやいや期の子どもの気持ち、親の気持ちについて学ぶ・これまでの振り返り	NPO法人子ども家庭リソースセンター 理事・臨床心理士 永田 陽子

●開設場所 橘分館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 主に2歳から3歳の子を持つ保護者

●参加者数 29人（男8人、女21人）

●延べ人数 96人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 15人（男11人、女4人）

●保育者 橘分館登録保育ボランティア

橘 家庭・地域教育学級（3）

タイトル：みんなの広場～おと絵がたり公演～

主 題：人の温もりを感じる遊びや表現の心地よさを認識してもらう

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	3	11	土	日常では経験できない体験を味わう	【公開講座】おと絵がたりによる影絵の公演とワークショップ	おと絵がたり 会員

●開設場所 橘分館

●時間帯 13:30～15:30

●対象 関心のある方

●参加者数 72人

宮前 家庭・地域教育学級（1）

タイトル：子どもはたくさんの手で育てよう

主 題：子育てに多くの人に関わることの重要性を伝える

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6	16	木	オリエンテーション／ 「たくさんの手で子育て」 する意味って？(1)	自己紹介、講座の趣旨説明、子育て支援に関わる講師から日々の実践を踏まえた話を聞く	NPO法人フリースペース たまりば 理事長 西野 博之
2		23	木	「たくさんの手で子育て」 ってする意味って？(2)	子育て支援に関わる講師から、日々の実践を踏まえた話を聞く	社会福祉法人東香会 しぜんの国保育園 園長 齋藤 紘良
3		30	木	身近で実行している人の話を聞いてみよう(1)	区内で実際に「たくさんの手で子育て」を実行している区民の話を聞く	自主保育「B.B. だん」 大西 由紀野
4	7	7	木	身近で実行している人の話を聞いてみよう(2)		宮前区冒険遊び場ネットワーク 久保 浩子
5		14	木	講座の振り返り／自分の子育てに活かしてみよう	講座を振り返り、「自分なら何から始められるか」を考え、具体的な行動を考える	「野川はあも」 代表 樹木医 伊藤 菊代 職員

- 開設場所 宮前市民館
- 対 象 乳幼児～小学生を持つ親
- 延べ人数 43人
- 保育参加者数 7人（男3人、女4人）
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 参加者数 12人（男0人、女12人）
- 保育内容 自由遊び
- 保 育 者 宮前市民館保育ボランティア

宮前 家庭・地域教育学級（2）

タイトル：宮前親子学級

主 題：いっしょに育とうママもキッズも

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9	8	木	オリエンテーション	ようこそ！親子学級へ	子育て支援ボランティア 「あおぞら」 中村 朝子 企画委員
2		15	木	子どもの育つ力を知る	見守る保育について	子育てアドバイザー 大田 京子
3		21	水		子ども本来の姿を見る 映画「アリサ」鑑賞	企画委員
4		29	木		子どもの発達に遊びが大切なワケ	帝京大学 教授 杉本 真理子
5	10	6	木		手がかかるのはうちの子だけ？	
6		13	木	前半の振り返り	これまでを振り返って	企画委員
7		20	木		子ども達の様子(保育室ビデオ)	
8		27	木		今日はゆっくりお昼ごはん(調理実習)	
9	11	2	水	今のままでいいのかな・・・と不安なママへ	もう知らなかったじゃ済まされない！ネットコミュニケーションマナー	親子スマイルネット 佐藤 安南 鶴飼 絵美
10		10	木		グループワーク	企画委員
11		17	木		先輩ママの話を聞いてみよう	自主保育「B.B. だん」 大西 由紀野 こしれん 遠藤 千晶
12		24	木		子ども達を支えていくということ	スクールソーシャルワーカー 入海 英里子
13	12	1	木		つながっていく大切さ	子育て・育児者支援グループ わたぼうし 山田 悦子
14		8	木	学習のまとめ	いっしょに育とうママもキッズも(保育室ビデオ)	企画委員
15		15	木		文集づくり 話そう！これからのこと	

- 開設場所 宮前市民館
- 対 象 平成25年4月2日～平成27年4月1日生まれの第一子を持つ親と子と対象年齢以上の子を持つ関心のある方
- 参加者数 17人（男0人、女17人）
- 保育参加者数 17人（男12人、女5人）
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 延べ人数 226人
- 保育内容 自由遊び
- 保 育 者 子育て支援ボランティア「あおぞら」

菅生 家庭・地域教育学級

タイトル：ゆるらく☆ママ部

主 題：つらく感じる子育てをゆるく楽な気持ちで乗り切ろう

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
AB1	5	12	木	講座のねらいを理解し、受講者が知り合う	オリエンテーション・自己紹介	保育ボランティア 2名 職員
A2		19	木	子どもと離れ、学習しながら仲間作りを図る	簡単でおいしい離乳食のコツを学ぶ	管理栄養士 宮田 愛
A3		26	木		手仕事を楽しむ	手芸愛好家 有村 文子 小川 明子
B2	6	2	木		ストレッチで心と体をほぐす	インストラクター 友田 万里
A4 B3		9	木	受講者以外の親子と知り合い仲間作りを図る	地域の先輩ママから子育ての経験談や地域の子育て情報を聞く	地域の先輩ママ 10名
B4		16	木	子どもと離れ、学習しながら仲間作りを図る	手仕事を楽しむ	園芸愛好家 蘭部 道代 手芸愛好家 服部 慶子
B5		23	木	お互いの不安な気持ちを伝え合い理解し合う	子育ての疑問や不安を出し合う	なごみ福祉会でんでん虫 専門相談員・保育士 栗原 敦子
A5		30	木			
AB6	7	7	木	これからの子育て、これからの自分を考える	学級を振り返りながら、気持ちの変化や気づきなどについて語り合う	保育ボランティア 2名 職員

- 開設場所 菅生分館
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 対 象 0歳児の親〈A・第1子 B・第2子〉
- 参加者数 A9人（男0人、女9人）B8人（男0人、女8人）
- 延べ人数 A44人 B39人
- 保育内容 自由遊び
- 保育参加者数 A9人（男3人、女6人）B14人（男8人、女6人）
- 保 育 者 つくしんぼ

多摩 家庭・地域教育学級

タイトル：100人居れば100通り

主 題：支援が必要それとも個性？PART2

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6	17	金	学齢期の子どもたちの「ちょっと気になる発達のこと」の知識と理解を深め、子どもの成長における保護者と家族の関わり方を学ぶ	自己紹介・これからの学習内容	小児療育センター 作業療法士 中山 修
2		24	金		子どもを理解し家族が育ち合うコミュニケーションを考える	
3	7	7	木		特性を知ること、早期発見と支援	(社福)青い鳥川崎西部地域療育センター
4		14	木		二次障害（不登校・ひきこもり・うつ病）	所長 柴田 光規
5		21	木		サポート校の支援と取り組みや指導を知る	生蘭高等専修学校 広報担当 石川 賢一郎
6	9	1	木	さまざまな支援と家族の関係や就労について考える	市立小中学校の支援と指導について（教育編） 通常級と支援級の違い	教育委員会総合教育センター 特別支援教育職員
7		15	木		学校と家庭の協力（生活・お友達編）	松原 晴美
8		29	木		兄弟姉妹との関係について考える	全国障がい者とともに歩む兄弟姉妹の会 田部井 恒雄
9	10	6	木		就労支援について知る	ダンウェイ(株) 取締役社長 高橋 陽子
10		14	金		全体のふり返りと今後を考える	中山 修

- 開設場所 多摩市民館 第5会議室
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 対 象 小中学生の保護者
- 参加者数 21人（男1人、女20人）
- 延べ人数 164人

麻生 家庭・地域教育学級

タイトル：HAPPY！ママライフ

主 題：子育てについてヒントを得ながら、子育て仲間をつくる

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など	
1	5	10	火	参加者を知る、子どもが保育に慣れる	講座オリエンテーション・保育の説明、図書館利用説明	麻生保育ボランティアグループ ジャンケンポン 職員	
2		17	火	専門家から子育てについてのアドバイス をもらい、身近なところから子育てに役立つヒントを得ると共に、同じように子育てで悩む仲間との話し合いを通して、 保護者同士の仲間づくりを支援する	笑顔で楽しくいるために～親子でラフターヨガ体験～	お多福笑いヨガ 代表 渋谷 美恵子	
3		24	火		子育て仲間の絆づくり①～システム・コーチングを使って～	米国CTI認定プロフェッショナルコーチ 塙 博臣	
4		31	火		先輩ママに聞く	27年度HAPPY！ママライフ受講者	
5	6	7	火		子どもの発達について	川崎市立上麻生保育園 保育士 北野 美奈子	
6		14	火		子どもの心がより分かるコミュニケーション	臨床心理士 石井 栄子	
7		21	火		子どもの食事と発達について	食の安全を考える会 代表 野本 健司	
8		28	火		子育て仲間の絆づくり②～HAPPYママライフを楽しもう～	塙 博臣	
9	7	5	火		これからもつながりあえる方法づくり	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代	
10		12	火		講座を振り返り、今後につなげる	講座の振り返り 保育のお別れ式	麻生保育ボランティアグループ ジャンケンポン 職員

- 開設場所 麻生市民館
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 対 象 2～4歳の子どもがいる親
- 参加者数 22人（男0人、女22人）
- 延べ人数 180人
- 保育内容 自由遊び
- 保育参加者数 20人（男7人、女13人）
- 保 育 者 麻生保育ボランティアグループ ジャンケンポン

岡上 家庭・地域教育学級

タイトル：おかがみで楽しく！ともそだち

主 題：視野を広め可能性を模索し、共に学び育つ仲間づくり支援する

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など	
1	9	16	金	お互いを知り、交流し理解する	オリエンテーション・学級と保育の説明	麻生保育ボランティアグループ ジャンケンポン 職員	
2		23	金	「ともに育つ」を学ぶ 専門家からのアドバイスをもらい、広い視野に立って、子育てを楽しみながら、役に立つヒントを得る 子ども、親、地域が、お互いに育ち合う現場から「ともに育っていく」保護者同士の仲間づくりを支援する	自然にある植物を使って、親子で作って楽しむ	ナチュラリスト・絵本作家 高柳 芳恵	
3		30	金		親子で楽しむ歌や絵本などの遊び方を学ぶ	すぎのこ保育園 園長 前田 満子	
4	10	7	金		子どもの発達・心理などを学び、悩みを軽減する	元川崎市保育士・子どもとことば研究会会員 久津摩 英子	
5		14	金		思春期のお子さんを持つ先輩ママさんから、これからの子育てを聞く	思春期講座企画運営委員会のメンバー	
6		21	金		子どもがいる、災害時の対応について学ぶ	防災インストラクター 植田 このみ	
7	11	4	金		岡上の野菜などを使った郷土料理等を作る	神奈川県ふるさとの生活技術指導員 山田 美智子	
8		11	金		工学者からみた子育てについて学び、視点を変えて可能性を考える	東京大学 教授 太田 順	
9		18	金		岡上の大地の恵みを味わう	ともそだち過去受講者 職員	
10		25	金		講座を振り返る	学級の振り返りと保育ボランティアさんから子どもの様子を聞く	麻生保育ボランティアグループ ジャンケンポン 職員

- 開設場所 岡上分館
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 対 象 2歳から就学前の子どもとその親
- 参加者数 18人（男0人、女18人）
- 延べ人数 143人
- 保育内容 自由あそび、散歩
- 保育参加者数 19人（男12人、女7人）
- 保 育 者 麻生保育ボランティアグループ ジャンケンポン